

事業実績書

| | |
|-----|------------|
| 団体名 | 小鯖地域づくり協議会 |
|-----|------------|

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

| |
|--|
| 地区住民および各種団体が連携・協力して、豊かで住みよい安全な地域づくりを進める。 |
|--|

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

| | | | | |
|---|-----|---------------------------|-----|----------|
| ① | 視点 | 将来の小鯖に向けたコミュニティーの基盤強化 | | |
| | 事業名 | 小鯖夢プランづくり事業 | 決算額 | 264,545円 |
| ② | 視点 | 地域住民の安全のための防災意識の向上 | | |
| | 事業名 | 自主防災組織の設立と防災訓練実施 | 決算額 | 193,648円 |
| ③ | 視点 | 地区の歴史変遷を整理して地域住民同士の繋がりづくり | | |
| | 事業名 | 小鯖地区のあゆみの編纂 | 決算額 | 527,350円 |

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

| 検証(成果、来年度以降への改善点等) | 自己評価 |
|---|------|
| ①小鯖夢プランづくり策定委員会を設立し、県立大の協力を得ながら、会議やアンケート調査を実施して、「これからの小鯖の夢プランづくり」に取り組めました。次年度からはさらに具現化した方向付、まとめが出来るよう継続します。 | ◎ |
| ②昨今、各地で発生する災害、その情報を耳にすることから、防災・研修等への関心が高く、研修等への参加も多い。この取り組みは今後も具体的なテーマを設定しながら継続します。 | ◎ |
| ③編纂委員会を平成23年に設立し、昭和40年以降の小鯖地区のあゆみを調査整理して記録に残そうと取り組み、平成26年度末にA4版カラー印刷90ページの冊子に仕上げた。 | ◎ |

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

| |
|--|
| 平成26年度は、中・長期の「小鯖地域づくり計画」に基づく活動を始め、地域が一体となって活動出来るイベント(防災研修、ウォーキング、小鯖ゆるキャラ、写真コンテスト等)を企画・実施し、地域課題を改善するように取り組みが出来たと思います。次年度からは、大筋の決まった事業計画と「これからの小鯖の夢プラン(案)」を更に煮詰め、具現化出来る様に努めます。 |
|--|

5 事業内容

(1)協議会運営

| | |
|----------|--|
| 事業費 | 4,019,507円 |
| 事務局の運営体制 | (事務員等の雇用人数):事務局長 1名、事務局員 2名 計 3名 (運営費の主な内容):事務局人件費、事務費、通信費他 (成果・評価):年間を通じて滞りなく事務局運営を行いました。 (今後に向けて):「小鯖地域づくり計画」を評価委員会で評価しつつ改善を加え、「夢 |

| | |
|--|---|
| | プラン」策定の検討を継続して進めるとともに、地域づくり協議会の事業推進体制を強化して行きます。 |
|--|---|

(2) 地域振興

| | |
|------|--|
| 事業名 | 活動計画の実施事業 |
| 事業費 | 22,132円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 部会会議の開催を計画的・効果的な運営・実施をしました。</p> <p>(実施時期): 26年4月 ~ 27年3月</p> <p>(参加人数): 専門部会のメンバー(10人)</p> <p>(成果): 部会の開催運営等は計画案の整理から始まり、最後のまとめ・反省まで予定通り実施しました。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 引き続き、各期において確認連絡する場で、事業の精度を更に上げられるような体制に取組みます。</p> |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 広報活動「正田山」 |
| 事業費 | 167,761円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 広報紙「正田山」を通して、地域づくり協議会の活動情報を伝えています</p> <p>(実施時期): 26年4月(52号)~27年3月(63号) 内 カラー版(59号)</p> <p>(参加人数): 総務部会委員にて 編集、印刷作業を行います。</p> <p>(成果): 地域づくり協議会の情報をかなり詳しく伝えることが出来ました。</p> <p>(評価): 広報紙サイズをA4版からA3版に大きくし、記事を多く、ゆったりと紙面にし、読み易くなったとか こんな記事を掲載して欲しい等の意見が聞かれるようになりました。</p> <p>(今後に向けて): 総務部会だけでなく、協議会全体での編集体制を検討し、親しまれる・読みやすい広報紙「正田山」づくりを目指します。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | ホームページによる地域発信事業 |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 「小鯖地域づくり協議会」のネーミングで24年4月末にホームページを開設し、随時 内容を更新継続しています。</p> <p>(実施時期): 更新作業は随時実施しています。</p> <p>(参加人数): 更新作業 1名</p> <p>(成果): 地域のお知らせ・活動報告情報を写真データ等を盛り込み、平均月1回は更新して最新情報を発信するよう努めています。</p> <p>(評価): サーバー容量が100MBと小さいこともあり、平凡的で、面白み・楽しさに欠けるという声が聞かれ、1年間のアクセス数が、約400件です。</p> <p>(今後に向けて): 次年度は、28年度再立上げに向けて、更に多くの人に親しまれアクセスされるホームページづくりに向けて検討する予定です。</p> |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 掲示板設置事業 |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 地区自治会で情報掲示の適当な場所がなく掲示板設置要望や補修の要望がある場合に助成するものです。</p> <p>(実施時期): -</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果): ここ2年設置要望が無いため予算計上してなく、出れば予備費で対応する考えでいました。結果として要望がなく実施しませんでした。</p> <p>(評価): -</p> |

| | |
|--|---|
| | (今後に向けて):次年度以降も事業としては継続し、要望の見込みあれば予算計上して進めます。 |
|--|---|

| | |
|------|--|
| 事業名 | 新たな公共ニーズへの対応 |
| 事業費 | 264,545円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 少子・高齢化の進む小鯖の将来を見据えて多様化する住民の公共ニーズを常に把握するよう努め、アンケート調査等を通して、小鯖の夢プランづくりに取り組みました。</p> <p>(実施時期): 26年 5月～27年 3月</p> <p>(参加人数): 小鯖の夢プランづくり策定委員会 :14人(コーディネーター含む)</p> <p>(成果): 山口県立大のアドバイス等により、論理的手法に基づいた「アンケート」調査を実施し、住民の意見 想いを集計・まとめをする段階まで進みました。</p> <p>(評価): 「小鯖の将来を見据えた」という具現化した意見・要望の発掘が難しく、委員会でのまとめ・方向付けに苦慮しています。</p> <p>(今後に向けて): 27年度以降も、山口県立大にも協力を得ながら、地区内でも若い世代を取り込み協議を重ね「小鯖の夢プランづくり」の具現化を目指します。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 地域活性化応援事業 |
| 事業費 | 422,878円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 小鯖地区活性化のために、人との絆の大切さを考慮して 全世代が交流参加が出来るイベント事業を行なうもので、26年度は下記の4件を取組みました。</p> <p>(実施時期): 25年4月 ～ 26年3月</p> <p>(参加人数): 各イベント実行委員会のメンバーにより実施しました。</p> <p>(成果): 下記の4件を事業として企画実施しました。</p> <p>① 夏まつり(8月)時「そうめん流し」は、天候不良のため中止しました。</p> <p>② ふるさとまつり(11月)時に、「イルミネーション」点灯し 約2ヶ月半実施しました。</p> <p>③ 小鯖の史跡・自然をテーマにした「写真コンテスト」を5月末から募集実施し 11月の小鯖ふるさとまつり時に審査発表表彰をし、その以降「写真展」を開催しています。</p> <p>④ 小鯖ゆるキャラは優秀作品3点の中から『さぼろっち』を選出し、小鯖ふるさとまつり時に発表表彰をし、その以降 広報紙「正田山」や色々なイベントに登場させたり、クリアファイルを作成配布して、地区の皆さんに愛着をもって貰えるように努めています。</p> <p>(評価): 昨年度に引き続き、「イルミネーション」「写真コンテスト」及び「小鯖ゆるキャラ」のお披露目をした結果、関心も集まり それぞれ好評でした。</p> <p>(今後に向けて): 小鯖の大きなイベント「夏まつり」、「小鯖ふるさとまつり」を盛りたてる形で活性化事業を企画し取り組んで行きます。前記のイベント事業は継続します。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | コミュニティ交通調査 |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 小鯖全地域におけるコミュニティ交通について検討します。</p> <p>(実施時期): ー</p> <p>(参加人数): ー</p> <p>(成果): ー</p> <p>(評価): 必要な検討課題ですが、今年度は実施しませんでした。</p> <p>(今後に向けて): 今後、高齢化が進むにつれ、コミュニティ交通は重要課題になると考えますので、十分に地域の意見を把握するようにします。</p> |

| | |
|-----|-------------|
| 事業名 | 地域活性化センター期成 |
| 事業費 | 10,717円 |

| | |
|------|---|
| 事業概要 | <p>(実施内容):色々な集いの場となるセンター(店舗、集い、避難)設立を目指し、調査検討します。</p> <p>(実施時期):26年4月～27年3月</p> <p>(参加人数):-</p> <p>(成果):店舗の代わりとなる「買物便情報」を先ず広報紙で再公開するとともに、候補土地の調査等を実施しました。</p> <p>(評価):-</p> <p>(今後に向けて):今後、「夢プランづくり」案の検討と並行して検討を進めます。</p> |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 事業名 | 地区総合計画の検証 |
| 事業費 | 10,500円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容):24年度に策定した「小鯖地域づくり計画」について、進捗状態を随時検証するものです。</p> <p>(実施時期):26年4月～27年3月 評価委員会開催</p> <p>(参加人数): 評価委員会メンバー6人</p> <p>(成果):年間10回の会合をもち、多数の率直な意見や指摘事項等が出ました。</p> <p>(評価):現在、「小鯖地域づくり計画」は実行段階にあります。今後、事業内容と予算執行状況と合わせて随時検証する必要があります。</p> <p>(今後に向けて):27年度も定期的に「評価検証」しながらフォロー作業を進めます。</p> |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 人材育成促進 |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容):地区内での活動の基になる「ボランティア意識」「参加意識」の芽生えになるキッカケ作りをする。</p> <p>(実施時期):26年4月～27年3月</p> <p>(参加人数):-</p> <p>(成果):「団体」「クラブ」等の紹介を広報紙で募集し、クラブ参加の意識をもってもらおうと試みましたが応募がありませんでした。</p> <p>(評価):-</p> <p>(今後に向けて):次年度は、若い世代に声掛けをして、研修会等を実施し 今後の小鯖地域のことを真剣に積極的に考えてくれる素地づくりを進める。</p> |

(3) 地域福祉

| | |
|------|--|
| 事業名 | 高齢者の生きがいづくり事業 |
| 事業費 | 4,240円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容):促進するために、「いきいきサロン連絡会」を開催しました。</p> <p>(実施時期):27年2月20日 開催</p> <p>(参加人数):設置済みの12団体と設置希望の地区代表者等の約25名が参加しました。</p> <p>(成果):うまきサロン活動を継続して行えるコツ等の意見交換が出来ました。が、高齢化が進み参加しにくくなっている等の課題があると認識されました。</p> <p>(評価):この「サロン連絡会」は、情報・意見交換の場として有意義と思われます。</p> <p>(今後に向けて):継続して活動出来るよう支援していくことが大事と考えます。</p> |

| | |
|-----|---------|
| 事業名 | 子育て支援 |
| 事業費 | 25,419円 |

| | |
|------|---|
| 事業概要 | <p>(実施内容): 地区内住民の要望に応え、支障なく「子育て支援活動」が行えるようにすると共に特に「子育て支援」活動を掲載したPRチラシを作成・配布し、多く参加して貰えるようにします。</p> <p>(実施時期): 定例会(年2回)、講演会 11月6日、「子育て支援」チラシ配布10月</p> <p>(参加人数): 講演会 約40人</p> <p>(成果): 「子育て支援」に関する種々の活動を掲載したPRチラシを作成し全戸に配布しました。</p> <p>(評価): 各イベントにおいて、食生活改善推進員や母子保健推進員、ボランティアの方々等の支援で予定通りの事業が実施出来、保護者にも喜んでいただきました。</p> <p>(今後に向けて): 状況に応じ、アンケート調査を行い「子育て支援」活動を充実させて行きます。</p> |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 事業名 | ウォーキング事業 |
| 事業費 | 24,261円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 検畑地区の「宇津木の里」にて健康維持、交友を深めるために「ウォーキング」、「ピザ焼き体験」を企画しました。</p> <p>(実施時期): 10月19日(日)</p> <p>(参加人数): 37人</p> <p>(成果): 約2kmの「宇津木の里」ウォーキングとピザ焼き体験を実施しました。</p> <p>(評価): 自然あふれた里での「ウォーキング」と共に皆揃っての「ピザ焼き体験」は好評でした。</p> <p>(今後に向けて): 楽しく、健康増進に向けたウォーキングのあり方を更に検討します。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | ふれあい配食事業 |
| 事業費 | 25,800円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 高齢独居者を対象に、労りや栄養等を考慮した「ふれあい弁当」を届け、元気に過ごして欲しいという気持ちで取り組んでいます。</p> <p>(実施時期): 年間3回実施しました。(10月3日、12月5日、3月6日)</p> <p>(参加人数): 毎回 約90食を配っています。</p> <p>(成果): 調理器具等を揃え、計画通り、実施しました。</p> <p>(評価): 少ない配食回数ですが、非常に喜ばれている事業になっています。</p> <p>(今後に向けて): アンケート調査をし、食中毒、献立内容や配食回数を検討し 継続して取り組んで行きます。</p> |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 見守り訪問活動の充実 |
| 事業費 | 5,544円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 70歳以上独居者を主に訪問活動および地区会議・研修を実施しました。</p> <p>(実施時期): 26年7月4日 小地区見守り合同研修会</p> <p>(参加人数): 61人</p> <p>(成果): 定期的な訪問、周辺住民による見守り活動で独居者の安否が確認されます。</p> <p>(評価): 日頃から独居者の安否が確認され、有意義な活動となっています。</p> <p>(今後に向けて): 今後も年1回は研修を続け、資質の向上に努めます。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事業名 | 小鯖地区敬老会 |
| 事業費 | 0円 |
| | <p>(実施内容): 26年度は各町内会単位で敬老会を開催しました。</p> <p>(実施時期): 26年4月～11月</p> |

| | |
|------|---|
| 事業概要 | (参加人数):敬老会として 17地区、お祝品贈呈の形式 6地区 (成果):小鯖全体として 100%実施されました。 (評価):小鯖地区全体及び町内会単位での交互に開催する敬老会も定着化しつつあり、有意義な催し形態になっていると思います。 (今後に向けて):今後も、小鯖地区全体及び町内会単位での敬老会を交互に開催します。 |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 事業名 | 高齢者サポート事業 |
| 事業費 | 25,260円 |
| 事業概要 | (実施内容):子どもや高齢者が心豊かに過ごせる地域を目指し、高齢者に対する買物支援、ゴミ出し支援等の地域住民の助け合い活動の有無を調査し今後の課題として提言出来るように取り組みます。 (実施時期):聞き取り調査 11月初旬 年末ボランティア 12月中旬 (参加人数):部会メンバー 10人 (成果):今回は、粗大ごみ処理 3件、電球交換 2件の依頼に対応しました。 (評価):高齢者所帯においては、今後も検討して欲しいと好評でした。 (今後に向けて):今回のサービスを参考にして十分に検討する必要があるが、新年度はお盆時期にも実施の予定で進めます。 |

(4)安心・安全

| | |
|------|---|
| 事業名 | 防災組織・訓練の推進 |
| 事業費 | 193,648円 |
| 事業概要 | (実施内容):小鯖自主防災組織設立に向けた研修を行い、関係団体等に自主防災組織の基本的なものを理解してもらい、設立の準備を進める。 (実施時期):【1回目防災教室】6月8日、【2回目防災研修】2月15日 開催 (参加人数):【1回目防災教室】約80人、【2回目防災研修】約65人 (成果):過去の災害事例を説明し、自主防災組織の必要性について 関心が高まって来ている。 (評価):具体的な説明や車椅子での移動等実体験をして理解し易かったと思います。 (今後に向けて):普段から色々な形で継続して自主防災に関する体験訓練を推進します。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 災害ボランティア事業の会の充実 |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | (実施内容):災害ボランティア隊員を募る共に、災害箇所に出向き支援活動する。 (実施時期):災害派遣する近辺対象地区なし (参加人数):なし (成果):- (評価):- (今後に向けて):今後も地元に限らず、他地区の災害ボランティア支援には積極的に参加予定です。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 災害弱者への対応 |
| 事業費 | 7,200円 |
| 事業概要 | (実施内容):小鯖地区内の災害弱者を把握するとともに、要支援者と支援者を特定し、災害時1人も犠牲者を出さぬよう 地区内における住民の安全確保に万全を期する体制を作ります。 |

| | |
|------|---|
| 事業概要 | <p>(実施時期): 26年7月に研修会を実施</p> <p>(参加人数): 地域づくり協議会、地区民児協、自治会、地区社協、地区福祉員協の関係者約80名</p> <p>(成果): 要支援対象者 31人の「災害弱者支援カード」を作成し、それを関係者へ配布しました。</p> <p>(評価): 関係者間では、現時点における最新情報の共有化は出来ています。</p> <p>(今後に向けて): 定期的に情報更新をしながら、継続的に行います。</p> |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 事業名 | 災害発生防止対策 |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 自主防災及び危険箇所現地調査等に関連した取り組みを行います。</p> <p>(実施時期): 26年4月～27年3月</p> <p>(参加人数): 部会メンバー 9人</p> <p>(成果): 防災研修等と兼ね、災害発生についての研修を行いました。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 次年度以降も、災害発生防止に向けて計画的に取り組めます。</p> |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 交通安全運動徹底 |
| 事業費 | 13,696円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 安全運転、安全歩行の意識をより喚起向上させるために、各地区の立哨者がベストやタスキを着用して啓発活動に努めています。</p> <p>(実施時期): 安全旗の補充を行い、子供の通学時間帯を主として立哨指導しています</p> <p>(参加人数): 20人</p> <p>(成果): 交通安全に腐心し、あいさつの交流が増してきました。</p> <p>(評価): 交通安全協会委員を中心とした 朝の指導は安心の絆を広めています。</p> <p>(今後に向けて): 交通安全運動期間中に ベスト等を着用し交通危険箇所を巡回して安全意識を高めるよう努めます。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 子供の見守り活動 |
| 事業費 | 69,120円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 小鯖っ子の登下校時の安全を期し、見守り活動を行っています。</p> <p>(実施時期): 年間を通して、登校時と下校時の見守り</p> <p>(参加人数): 現在登録の会員数は 約100人です。</p> <p>(成果): 年度末にマジックシートタイプの『ステッカー』を作製し、27年度からパトロール車に貼り付け、安全見守りを充実するようにします。</p> <p>(評価): 小鯖小学校通学者の登校下校時の安全を見守る活動で地区住民からは一様に感謝されています。</p> <p>(今後に向けて): 子供を大事にする気持ちで、継続して取り組みます。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 消防団の支援促進 |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容): 小鯖地区の消防団員の新規募集等を進め体制維持を進めます。</p> <p>(実施時期): -</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果): 募集活動としては、広報紙「正田山」等を活用し経費発生はありませんでした。また具体的な応募もありませんでした。</p> <p>(評価): 団員の高齢化等の問題もあり、体制維持への検討が必要です。</p> |

(今後に向けて):次年度以降も継続して取り組みます。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 防火防犯対策 |
| 事業費 | 4,661円 |
| 事業概要 | (実施内容):空家問題が防火防犯の一因でもあり まず空家等の調査を実施し対策を検討します。 (実施時期):26年11月～27年2月 (参加人数):11人 (成果):地区内で空家32軒を調査し、地図等作成して整理しました。 (評価):空家情報公開についても問題があり、現在は内部で保管、検討しています。 (今後に向けて):空家の防火防犯上の具体策に向けて検討を進めます。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 防災資材充足 |
| 事業費 | 219,240円 |
| 事業概要 | (実施内容):自主防災及び避難に関連した資材補充の取り組みを行います。 (実施時期):26年11月～27年2月 (参加人数):11人 (成果):個人テント、パーテーション、マット等を購入しました。 (評価):- (今後に向けて):避難時に必要と思われる資材を主に補充していくよう進めます。 |

(5)環境づくり

| | |
|------|--|
| 事業名 | 花いっぱい運動(花壇整備) |
| 事業費 | 136,289円 |
| 事業概要 | (実施内容):小鯖地区内の環境美化を目的とし、町内会に公共の花壇整備費として上限15,000円内で申請額の10割を助成するものです。 (実施時期):26年4月～26年12月 (参加人数):13団体 (成果):団体数として、前年度並みの活動 (評価):地区内に23地区自治会が登録されているが、約半数の申請に止まっているが、前年に比べるとこの花壇整備事業助成制度を利用して花壇整備を進めようという声を多く聞くようになりました。 (今後に向けて):環境美化事業は次年度以降も継続して実施します。広く認識してもらうために、広報紙「正田山」以外による広報活動も併せて検討します。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 一斉清掃活動 |
| 事業費 | 283,842円 |
| 事業概要 | (実施内容):小鯖地区内の環境美化を目的として、地区単位での清掃活動に対して1回5000円(上限)を助成するもので、年2回まで申請受付をします。 (実施時期):26年4月～26年12月 (参加人数):延べ31地区(2回申請12地区) (成果):団体数として、前年度と同等 (評価):地区内に23地区自治会が登録されていて、実際に清掃活動をしているが、他の中山間事業等から補助を受けているために地域づくり協議会へ申請していないケースがあり数字が増えない面があります。 |

| | |
|--|--|
| | (今後に向けて): 環境美化事業は次年度以降も継続して実施します。前項と同様に、広く認識してもらうために、広報紙「正田山」以外による広報活動も併せて検討します。 |
|--|--|

| | |
|------|--|
| 事業名 | 鳴滝公園の観光地化 |
| 事業費 | 15,000円 |
| 事業概要 | (実施内容): 鳴滝公園の管理及び環境整備について取り組みます。 (実施時期): 随時、山口市観光整備課と協議を進めています。 (参加人数): 7月中旬に約40名参加で鳴滝親水プールの砂上げ整備しました。 (成果): 鳴滝親水プールオープンや鳴滝公園の草刈り等整備も行い、夏時期は多くの親子連れの姿がありました。 (評価): 山口市と継続して協議して、環境整備管理の検討が必要です。 (今後に向けて): 観光地、野良猫等の問題については、解決に向けて継続して協議して行くと共に公園、プールの整備を継続して進めます。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 正田山の環境整備 |
| 事業費 | 200,000円 |
| 事業概要 | (実施内容): 小鯖地区中心にある 正田山の環境美化を目的とし、頂上のタンク周辺の雑木を伐採し整備しました。 (実施時期): 27年1月～2月 (参加人数): 伐採作業は民間業者に委託し実施。(斜面にて危険をとまう為) (成果): 前年度以上に間伐による整備が進み、頂上付近の見晴らしが良くなり、国道からタンクや桜が更に見えやすくなりました。 (評価): 正田山タンク周辺が整備され 更に行きやすくなり、憩いの場になりました。 (今後に向けて): 今後も正田山の雑木伐採については、継続して行くと共に、トイレや駐車場整備について山口市観光課と協議して推進します。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 土木工事(法定外公共物整備) |
| 事業費 | 2,624,200円 |
| 事業概要 | (実施内容): 法定外公共物整備事業として地域に広報し、要望を受け付け、土木工事推進委員会にて審査しその年度内の工事箇所を決定して進めています。 (実施時期): 26年4月～27年3月 (参加人数): 土木工事推進委員会(7人)にて対応。 (成果): 7件(フェンスパイプ補修1件、用水路5件、反射鏡1件)承認対応しました。 (評価): 毎年予算額を遥かに超えるぐらい申請が出ています。 (今後に向けて): 申請内容を十分に吟味し、必要と思われる工事から優先的に実施して行きます。 |

(6) 地域個性創出

| | |
|------|---|
| 事業名 | あいさつ運動の推進 |
| 事業費 | 41,440円 |
| 事業概要 | (実施内容): 地域全体で取り組めるような「あいさつ運動」の推進を図ります。 (実施時期): 26年4月～27年3月 (参加人数): 小学校全児童及び地区住民 (成果): 児童、一般から多くの標語応募があり、児童7点、一般3点の入選作品を選出し、3月初めに小学校フェンス及び他の通学路沿いに掲示しました。 (評価): 今回で4回目。1年目ほどの盛り上がりには欠けた感があります。特に一般の応募が少なく、関心が薄かったように思われます。 |

| | |
|------|---|
| | (今後に向けて):継続の必要性から、今後、各地区公民館にも標語を揚げ、関心度をアップして取り組みを推進します。 |
| 事業名 | 三世代交流大運動会 |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | (実施内容):運動会競技の中に、防災関係の種目を入れ 必要用具を準備する計画でしたが、代用の用具で実施出来たので、この事業内では費用計上をしません。 (実施時期): 26年4月20日 (参加人数): 約600人 (成果):応援や競技間の会話が弾み、地域の絆が深まっています。 (評価): 昨年に引き続き、高齢化等により競技に参加出来る編成が組めず、参加出来ない地区が発生し、運動会の運営について見直しが必要という声が聞かれました。 (今後に向けて): 次回から子ども、若者が少なくても 高齢者でも参加可能な競技種目を検討し、全地区が参加出来、継続して行けるよう検討しています。 |
| 事業名 | 小鯖夏まつり |
| 事業費 | 0円 |
| 事業概要 | (実施内容):盆踊り、歌等を通して地域の方々と交流出来る「世代を超えた交流の場」として「小鯖夏まつり」を実施します。 (実施時期): 26年8月10日(土)予定でしたが、天候不良により中止しました。 (参加人数): — (成果): — (評価): — (今後に向けて):今後も久しぶりに帰省した家族とともに、子供の参加を促進するような 楽しい雰囲気「夏まつり」になるよう取り組んでいきます。 |
| 事業名 | 小鯖ふるさとまつり |
| 事業費 | 270,000円 |
| 事業概要 | (実施内容):地域交流センター館内外、幼稚園広場等を利用し、各利用団体の学習発表や地域交流の場として みんなが楽しく集えるふるさとまつりにしました。 (実施時期):26年11月16日(日) (参加人数):約700人 (成果):天候にも恵まれ参加者は多かったように思われます。ぶっくんコーナー、科学実験コーナー等も好評で子供の来場者にも喜ばれました。 (評価):初めて中学校のボランティア参加によるまつり運営をしました。また小学校の協力を得て、小学生の標語・絵の作品展示を行うことが出来、新規の展示団体、協力団体が増えました。 (今後に向けて):学習発表団体は減少傾向にあるが、イベント内容も充実させていき、今後は幼稚園・JAとも連携して一緒に地域のまつりを盛り上げたいと思います。 |
| 事業名 | スポーツの振興 |
| 事業費 | 41,270円 |
| 事業概要 | (実施内容):地区住民の健康増進、交流を目指すもので、これまでも、ソフトバレーボール、キンボール、カローリング等のニュースポーツを取り入れて推進しています。 (実施時期):26年4月～27年3月 (参加人数): — (成果): 26年度は、要望により屋内用、屋外用のペタンクを購入しました。前年度購入したグランドゴルフは運動会で、カローリングは意見交換会で、26年度購入のペタンクは町内会活動等での利用がありました。 |

| | |
|--|--|
| | (評価): 26年度において総体的に器具の認知度が低いためか利用度が低調です。 (今後に向けて): 新年度においては、広報紙「正田山」等を活用し、各スポーツ器具の紹介やその利用促進を図って行きます。 |
|--|--|

| | |
|------|--|
| 事業名 | 青少年の健全育成 |
| 事業費 | 87,156円 |
| 事業概要 | (実施内容):小鯖・大内地区学徒による教育ネット「あたりまえ10ヶ条」看板設置し、意識改革および健全育成を目指します。 (実施時期):26年10月に設置しました。 (参加人数): — (成果):小鯖小学校校門近くに設置しました。 (評価): — (今後に向けて):新年度も教育ネットと連携しながら健全育成を推進します。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 小鯖地区のあゆみ編さん |
| 事業費 | 527,350円 |
| 事業概要 | (実施内容): 昭和42年に発刊された「小鯖村史」以降 小鯖の歴史をまとめたものが無いため、その後の「小鯖地区のあゆみ」を編纂することにしました。 (実施時期):24年4月から開始し、27年3月末に製本しました(A4カラー版90頁)。 (参加人数):あゆみ編纂委員会メンバー 8人 (成果): 昭和40年以降の小鯖の事象について協力者から原稿を集めるところから始まり、編集、校正を積み重ね、1冊の「小鯖のあゆみ」として編纂することが出来ました。 (評価): 34回の打ち合せを行い、27年5月に全戸に配布予定です。 (今後に向けて):「次回の編纂」に向けての準備をスタートします。 |

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。